



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

第11号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集委員会

岡部市長と地域の代表者として 町会長が懇談会を実施



地域の代表として

町会長連合会が主催する「市長との懇談会」が3つの地区で開催されました。

この懇談会は岡部市長と町会長が懇談し、地域における課題や今後の佐野市について話し合うことを目的にしています。市内167町会を5つの地区に分け、今年度は3地区で開催し、2年間で全地区を対象に開催しました。

佐野地区・堀米地区

8月21日に勤労者会館（浅沼町）において佐野地区及び堀米地区の町会長24名が出席して意見交換を行いました。

懇談会では、新庁舎建設工事に関する事など、7件の議題を中心に意見交換が行われ、「地元経済対策のためにも、一日も早い新庁舎の完成を望んでいます。」という意見に対して、「平成27年8月末の完成を目指して、市の防災拠点、そして市民サービスの低下を防ぐためにも、新庁舎の一日でも早い完成に努めます。」という説明がありました。

植野地区・界地区・犬伏地区

11月21日に犬伏地区公民館において植野地区、界地区、犬伏地区

区の町会長32名が出席して意見交換を行いました。

懇談会では、防犯灯のLED化、通学路の雨水対策や安全対策など住民生活に密着した10件の議題を中心に意見交換が行われました。

町会長連合会では、現在は蛍光灯の防犯灯をLED化する要望を行っております。メリットとしては、消費電力や二酸化炭素の排出量を削減でき、電灯が長持ちするため、維持費や管理等の手間を減らすことができます。懇談会では、LED化に向け前向きに検討しているという説明がありました。

旗川地区・吾妻地区・赤見地区

今年度の最後の懇談会として、2月12日に吾妻地区公民館において旗川地区、吾妻地区、赤見地区の町会長が出席して意見交換を行いました。

懇談会では、吾妻中学校の生徒数の減少やインランドポート構想などの10件の議題を中心に意見交換が行われました。



かわさき エコ暮らし 未来館を視察



町会長連合会が主催する管外視察研修会を実施しました。92名の町会長が参加し、7月18日に神奈川県川崎市のかわさきエコ暮らし未来館を視察しました。

佐野市では小中学校などの公共施設の屋根を太陽光パネルの設置場所として民間事業者に貸し出しています。太陽光発電は環境問題や地球温暖化対策として、再生可能エネルギーの中核となっていることから、その仕組みなどを理解することを目的に研修会を実施しました。

初めに、館内で地球温暖化問題、太陽光発電などの再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマについて学び、次に隣接する敷地面積約11万ヘクタール（東京都2.3割）、年間



発電量740万kWh（一般家庭², 100軒分のメガソーラー発電所を見学しました。

その敷地は普通の土地と全く変わらぬように見えましたが、川崎市で発生したゴミの焼却灰を埋め立てて造成された土地でした。法律で20年間は建物が建てられないことから、この土地を有効活用するために作られたのが、浮島太陽光発電所とのことでした。



最後に家庭から出たプラスチックをリサイクルできるよう、選別・圧縮・梱包^{梱包}している資源化処理施設を見学しました。

廃プラスチックとして集められた汚れのひどい容器を資源として再利用するため、手作業で取り除く大変な作業で、資源ゴミを有効利用するためには、ひとりひとりの分別に対するマナーが重要だということを再認識しました。



全国自治会連合会 川越大会に参加

全国自治会連合会の全国大会が埼玉県川越市で10月18日開催されました。全国の自治会・町会に携わる方々と交流を図り、豊かで暮らしやすい地域づくりを進めることを目的としたこの大会に役員22名で参加してきました。

大会は全国より約1,000人の自治会・町会関係者が集まり「住民主体のまちづくり」と題して、NPO法人川越蔵の会の原知之氏^{（ごもぎき）}から川越の蔵造りの町並みを維持するための活動についての講演がありました。また、NPO法人子ども大学かわごえの酒井理事長より地元自治会と協働でつくった分校による郷土愛を育む「ふるさと学」を行った協働のまちづくりの実践報告がありました。

豊かで暮らしやすい地域づくりを進めるための先進地の活動や方策について勉強しました。



町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は、住民の皆さんと共に隣近所との絆づくり、災害時の対応やいざという時の相互扶助など、地域のために様々な活動を行っています。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- **安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- **親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- **環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- **地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を、回覧板や広報の配布を通して提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段とも言われています。

永年在職の町会長・町会役員の方々が表彰を受けられました

1月10日佐野市町会長新春祝賀会（佐野市文化会館）、1月24日栃木県自治会連合会会長研修大会（さくら市氏家公民館）において、永年にわたる町会活動や地域の福祉向上に貢献された方々が表彰を受けられました。



- 【栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰】
- 【佐野市町会長連合会永年在職町会長10年表彰】
- 室岡 宣幸 若松町（第2協和会）
- 【佐野市町会長連合会永年在職町会長5年表彰】
- 田名網俊昭 万町（佐野）
- 若田部喜一郎 大蔵町
- 落合 勝敏 金屋仲町
- 関根 光雄 寺中町
- 篠崎 藤一 高山町
- 矢島 堅司 犬伏新町
- 小早川房平 米山南町
- 芝宮 治 赤見町（駒場）

- 青木 俊一 仲町
- 柳 誠 上町東
- 森下 憲一 長谷場
- 【佐野市町会長連合会永年在職町会役員表彰】
- 保坂久美子 植上町
- 木村 信子 若宮下町
- 小野 博 富岡町（南部）
- 亀田 竹芳 戸室町
- 川田 昇 富士見町

片柳茂呂山町町会長が自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました

11月29日自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰式（東京都千代田区総務省）において、24年以上にわたる町会活動を通じての良好な地域社会の維持及び形成に対する顕著な功績を称えられ、新藤総務大臣より表彰されました。片柳町会長は、地元町会や役員の方々の支えにより、町会長の責務を行います。これからも地域の発展のために努めたいと思っております。



▲新藤総務大臣（左）と片柳町会長（右）

地域活動紹介

高萩町会 防犯パトロール隊



活動のきっかけ

高萩町は大型商業施設の出店などによる急速な都市化の進展に伴い犯罪発生件数が増加し、地域の安全が懸念されています。そこで、三枝清成さんの呼びかけで、「自分たちの町は自分たちで守る」という信念を持つ有志が平成19年7月に高萩町防犯パトロール隊を結成しました。

地域の意識を変えることから

結成当時、地域への関心が薄くなりがちな新興住宅地において、家庭ごみの不法投棄が多く発生していました。そこで、不法投棄されたごみを片付け、地域への関心を取り戻すことから始めましたが、最初は片付けても、また捨てられるということの繰り返しでした。しかし、辛抱強く続けた結果、次第に不法投棄は無くなるに伴い、空き巣などの犯罪発生件数も減少していききました。

地域安全マップの作成

三枝さんは、子どもたちが自

分の身を守る能力を養うことにも力を入れています。平成21年より、界小学校の児童と教員、保護者そして高萩町防犯パトロール隊などの皆さんが集まり、自分たちの住む町内でフィールドワークを行い、地域安全マップを作成しています。また、昨年は地域防災安全マップづくりや不審者対応訓練も行いました。

犯罪に遭わないために必要なことは、「危ない人」を特定するのではなく、「危ない場所」に注目することです。通学路において雑木林の伐採をお願いするなど、入りやすく、見えにくい場所をなくす努力が続けています。

三枝さんに話を伺ったところ、「子どもたちが将来おとなになって自立した時、地域安全マップの作成を通じて身につけた防犯に対する知識を新しい地域でも実践してほしい。」とのことでした。



▲界小学校で行われた不審者対応訓練

千葉県茂原市自治会長連合会と 意見交換会を実施



千葉県茂原市



視察の受入れ

10月10日、千葉県茂原市自治会長連合会と意見交換会を東飯庁舎で実施しました。2年連続の視察受入れとなり、露崎皓久自治会長連合会会長をはじめとする計24名の茂原市の方々、2時間近くに及び意見交換会を実施しました。

茂原市はヨウ素(天然ガス)の生産地

茂原という地名は湿地が広がる藻の原だったことから「藻原の荘」と平安時代に呼ばれていたことに由来しています。茂原市は、人口9万3千人で、千葉県の中央東部に位置しています。江戸時代に交通、商業の要衝として栄え、明治中期にヨウ素(天然ガス)が発見されたことよって、化学工業やハイテク産業などの近代産業が発展しています。

町会加入への取り組み

今回の視察は、佐野市の町会への加入率や自主防災組織・自主防犯組織の組織率が茂原市と比較して高いため、その推進方法などを意見交換するために申し込みました。佐野市の町会への加入促進策としては、加入チラシの作成や広報紙「かさざわ」の発行など町会に加入

する意義について、地域住民の皆様を理解していただくための取り組みを紹介しました。

共通の課題

佐野市でも町会の加入率の課題については、意識して対策を取っています。加入チラシも、町会長や役員が中心となって、地域に転入してきた方に直接説明して、コミュニケーションを取るなど効果的な工夫をしている町会もあります。このような地道な積み重ねが住民の方の町会活動に対する理解となり、加入率の維持につながることを改めて再認識し、実りある意見交換会となりました。

佐野市と茂原市の比較表

(平成25年4月1日現在)

項目	佐野市	茂原市
人口	123,182人	92,569人
世帯数	49,170世帯	38,594世帯
自治会数	167	246
自治会加入率	88.2%	63.6%

編集後記

「さのまる」が「ゆるキャラ® グランプリ」で優勝したことに象徴されるように、「元気な佐野」の明るいニュースを目にすることが多く、佐野の住民としてはうれしいことです。

そんな時期に、地域活動を支え、まちづくりを担っている町会が関係する「全国学びとまちづくりフォーラムin佐野」が3月1日(土)・2日(日)に佐野市文化会館他を会場として開催されます。

この大会は、各地で展開されている活発な「まちづくり活動」の実践事例を情報交換して交流をはかり、生涯学習まちづくりの発展につなげることを目的にしています。昨年度東日本初の試みとして佐野市で開催され、今回が2回目の開催となります。

まちづくり活動の実践事例も8分科会で32団体の発表があります。先進町会の実践事例を聞くことにより学び、まちづくり活動の取り組みへの反映を図って行きたいと考えています。(小早川)

発行者 佐野市町会長連合会

〒307-8501

栃木県佐野市亀井町2058-1

佐野市役所南飯庁舎1階

☎0283-120-3000

20283-120-3000

篠崎芳朋

小早川房平

室岡宣幸

長谷川博

飯田明生

大屋吉久

発行責任者
編集委員長
編集委員

柳澤敬一

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。